



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）7月15日号 No.1435

目次

■2025年のロシアの人口	1
■キーパーソン	6
新しい駐カザフ大使に夏井氏／6	
■統計速報	7
ロシア・NIS諸国の最新GNP／7	
■トピックス	8
住商と積水化学がロシアで水道管合弁／8	
横河電機がガスプロムネフチとパートナーシップ協定／8	
NTTコムが日ロ海底ケーブルの運用を開始／8	
KDDIがモスクワ支店を開設／8	
秋田県がロシア極東コンテナ定期船の覚書を締結／9	
■エトセトラ	9
2008年発行の特別報告書のご案内／9	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	10
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	10

2025年のロシアの人口

はじめに

このほど当会では、ロシア連邦国家統計局が作成した「2025年までのロシア連邦の人口予測」を入手した。この予測には楽観、悲観、中間の3つのパターンがあり、楽観シナリオは、国民生活水準の向上と安定的な人口政策の奏効を前提とする目標値である。一方、悲観シナリオは経済の現状維持ないし停滞を前提とするが、何らかの社会変動や災害は想定していない。中間シナリオは、社会・経済状況の一定の改善を前提としている。

そこで今号では、近年のロシアの人口動態および上記の長期人口予測の一部データを紹介する。なお、人口問題に関連して、当会『ロシアNIS調査月報』2008年8月号（7月20日発行予定）では「ロシア国民の健康と美容」と題する特集を組み、ロシア社会と人口問題、医療の動向、アルコール、タバコ、医薬品市場等に焦点を当てているので、こちらにも併せてご参照いただきたい。

→<http://www.rotobo.or.jp/publication/geppou/g200808.htm>